

## 『セーラが語る小布施のまち起し』

小布施でも松代でもない、若穂のまちづくりをどう進めるか？



保科高下の自宅で愛息・愛犬と

### 《平成わかほ塾》開講へ

事始めのゲストは、小布施まち起しのセーラ・マリ・カミングスさん。楽しいお話しが期待できます。

市民運動会でもおなじみのセーラさんのお話しと交流のひと時……。どなたでも参加できます。中学生や高校生も大歓迎です！

■と き 9月25日(土) PM6:30開講

—受付は6:00から—

■ところ 若穂支所2F

■主 催 若穂地区住民自治協議会

第2部ではセーラさんを囲んで懇親会を設けます(有料)。ご希望の方は予め、事務局へお申込みください。

電話 050-8686-5700

有線 2062

#### 《セーラ・マリ・カミングスさん略歴》

- 1993年 ペンシルベニア大学卒業
  - 1994年 ㈱小布施堂入社・経営情報室立ち上げ
  - 1996年 唎酒師認定
  - 1998年 長野冬季五輪の英国選手団アシスタント・オリンピック・アタッシュ  
「第3回国際北斎会議」を企画・運営  
㈱一「蔵部」レストラン開設
  - 1999年 「桶仕込み酒(白金)」を50年ぶりに木桶仕込み復活
  - 2001年 「小布施セッション」文化サロンをスタート  
日経ウーマン誌が選ぶ「ウーマン・オブ・イヤー2002」大賞受賞
  - 2002年 桶仕込み保存会を発足
  - 2003年 「1530」(市ゴミゼロ):2週間ごとにゴミを拾い続けるボランティア活動開始  
「小布施見にマラソン」実行委員長(企画運営)
  - 2004年 ㈱文化事業部設立・代表取締役就任
  - 2006年 ㈱㈱一市村酒造場代表取締役就任
  - 2008年 地域づくり総務大臣賞個人賞受賞
- 《参考出版物》「セーラが町にやってきた」(清野由美子著)「小布施セッション:長野県小布施町から洗練された発信力」(日経 PB 企画)「OBSESSION」(㈱文化事業部)など

《平成わかほ塾》は今年度の新規事業です。

ともすれば、小布施や松代の影になって活力や誇りを失いかけているこの若穂……。

内外からゲストを招き、若穂のまちづくりに、まち起しに新風とエネルギーを注ぎます。

今回はその第1回目ですが、今後は「運営委員会」を設けて連続開催する予定です。

こんなゲストを招いてほしい、若穂にもこんな人がいるよーそんな情報もお待ちしています。  
(事務局)

## 『わかほを考えるフォーラム』を開催

今回は市担当者を招き新しいスタイルで…

分科会《福祉》ではグループ討議



### 永保荘で存続要請

署名ありがとうございます。  
8月30日に市長と市  
議会議長に提出しました。

## 今年度の「ほんわか・ほ支援金」は6団体に交付決定

申請は6団体で、8月19日に交付審査委員会(会長□□□□)を開催して一部、金額査定のうち全ての団体に交付を決定しました。交付総額は230,000円。来年度に向けては、選考基準をさらに検討するよう指摘が出されています。

申請団体(代表者)	申請額(円)	事業内容	決定額(円)
保科誌刊行会 (□□□□)	50,000	5か年計画で保科の歴史的資料を収集し、冊子を発行。その過程での事務費などを申請。	40,000
保科るねっさんす俱樂部 (□□□□)	50,000	保科の有志により長年、地域で文化活動を展開。保科温泉でのコンサート経費を申請。	50,000
お話ハートの会 (□□□□)	49,400	女性有志による保育園、老人施設での朗読、歌唱の活動。電子ピアノ等の購入費を申請。	20,000
若穂文化振興会 (□□□□)	50,000	文化団体の交流や文化芸術の振興を目的に活動。毎年開催する文化祭の幟旗購入等で申請。	50,000
浦町神楽保存会 (□□□□)	50,000	獅子・神楽の継承と後継者育成。鈴、笛、法被等の更新で申請。	30,000
町川田区 (□□□□)	50,000	川田小が登る十二山登山道整備の一環で、古城山広場に組立式仮設トイレ設置で申請。	40,000